

平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月5日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績（平成28年6月1日～平成28年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	14,203	8.2	560	151.4	434	290.5	274	495.4
28年5月期第2四半期	13,124	△6.9	222	527.5	111	—	46	—

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 300百万円 (351.2%) 28年5月期第2四半期 66百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	186.87	—
28年5月期第2四半期	31.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	18,070	5,089	26.7	3,286.22
28年5月期	18,109	4,847	25.4	3,138.74

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 4,821百万円 28年5月期 4,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年5月期の連結業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,650	12.5	830	25.0	560	27.9	325	41.3	221.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期2Q	1,480,000株	28年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	29年5月期2Q	12,878株	28年5月期	12,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期2Q	1,467,122株	28年5月期2Q	1,467,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年6月1日～11月30日)における東海地域の経済は、海外経済・為替動向の先行き不透明感を抱えながらも回復を続け、輸出は、熊本地震による自動車産業における供給網の混乱等の影響が薄れるもとで緩やかに増加しました。また個人消費は、雇用環境が改善する中で緩やかに持ち直しました。

当地域の不動産業界においては、名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いておりますが、住宅地の上昇幅は縮小しました。愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加しており、住宅ローンの低金利等に支えられた需要環境の下、住宅市場の持ち直し基調は緩やかに続いております。

このような状況下、当グループの主力事業である分譲住宅事業では、前期から引き続き、事業工期短縮とコストダウンを最重要課題として進めました。また、集成材製造・プレカット加工を行う岐阜工場を中心とした建設資材事業では、製造・物流コストの低減活動を進めるとともに販売先の拡大に注力してまいりました。その結果、これまでの各種改善活動の成果が表れ始め、主に戸建分譲住宅事業の利益率が消費税率引き上げ前の水準となり、四半期純利益が当初公表した業績予想値を上回ることとなりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

なお、前第3四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売を主力事業とし、住宅建設資材の製造・販売も行っております。前年同期と比べて、販売効率が向上したことと住宅建築のコスト改善活動が進んだこと等により、売上高は13,079百万円(前年同期比17.8%増)、セグメント利益は589百万円(前年同期比838.4%増)となりました。

② AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は877百万円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益は225百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

③ 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等を行っております。当第2四半期連結累計期間では物件の売却を行わなかったため、売上高は129百万円(前年同期比9.4%減)、セグメント損失は10百万円(前年同期は4百万円の損失)となりました。

④ その他の事業

その他の事業における売上高は176百万円(前年同期比84.4%減)、セグメント利益は22百万円(前年同期比89.8%減)となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計売上高は14,203百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は560百万円(前年同期比151.4%増)、経常利益は434百万円(前年同期比290.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は274百万円(前年同期比495.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が増加したものの、たな卸資産と有形固定資産が減少したことを主な要因として、前連結会計年度と比較し39百万円減少し、18,070百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得にかかる借入金の減少を主な要因として、前連結会計年度と比較し281百万円減少し、12,981百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較し242百万円増加し、5,089百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が431百万円(前年比287.8%増)であったこと等により、810百万円の収入(前年同期は44百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、75百万円の支出(前年同期比88.3%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出等により、604百万円の支出(前年同期は575百万円の収入)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は130百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は4,170百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月13日付の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,057,523	4,186,396
受取手形	3,584	—
完成工事未収入金	55,095	5,003
売掛金	252,717	301,987
販売用不動産	5,491,623	4,365,806
仕掛販売用不動産	4,120,405	4,904,450
未成工事支出金	801,329	1,188,070
商品及び製品	197,779	218,185
仕掛品	72,429	96,107
原材料	359,102	165,775
その他	554,087	560,149
流動資産合計	15,965,677	15,991,932
固定資産		
有形固定資産	1,728,281	1,665,575
無形固定資産	128,919	121,781
投資その他の資産	286,993	291,419
固定資産合計	2,144,194	2,078,775
資産合計	18,109,872	18,070,708
負債の部		
流動負債		
工事未払金	999,268	1,229,233
買掛金	229,264	312,465
1年内償還予定の社債	109,000	130,200
短期借入金	6,420,882	5,809,278
1年内返済予定の長期借入金	1,308,988	1,098,495
未払法人税等	99,163	116,338
賞与引当金	108,595	14,197
完成工事補償引当金	169,841	174,104
その他	611,463	687,486
流動負債合計	10,056,466	9,571,799
固定負債		
社債	79,000	93,300
長期借入金	2,071,194	2,364,790
退職給付に係る負債	446	478
役員退職慰労引当金	130,600	134,344
資産除去債務	15,931	16,016
その他	908,778	800,446
固定負債合計	3,205,950	3,409,376
負債合計	13,262,416	12,981,175

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,066,135	4,281,608
自己株式	△21,033	△21,033
株主資本合計	4,604,134	4,819,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	1,673
その他の包括利益累計額合計	782	1,673
非支配株主持分	242,538	268,251
純資産合計	4,847,455	5,089,532
負債純資産合計	18,109,872	18,070,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	13,124,662	14,203,749
売上原価	11,509,969	12,215,182
売上総利益	1,614,693	1,988,566
販売費及び一般管理費	1,391,700	1,427,933
営業利益	222,992	560,632
営業外収益		
受取利息	130	15
受取手数料	9,354	9,049
その他	16,235	12,424
営業外収益合計	25,721	21,489
営業外費用		
支払利息	115,017	115,635
その他	22,387	31,773
営業外費用合計	137,405	147,409
経常利益	111,309	434,712
特別利益		
固定資産売却益	16	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,974
特別損失合計	—	2,974
税金等調整前四半期純利益	111,325	431,737
法人税等	44,944	131,866
四半期純利益	66,381	299,870
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,337	25,712
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,044	274,157

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	66,381	299,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	271	891
その他の包括利益合計	271	891
四半期包括利益	66,652	300,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,315	275,048
非支配株主に係る四半期包括利益	20,337	25,712

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	111,325	431,737
減価償却費	163,504	144,441
受取利息及び受取配当金	△1,099	△804
支払利息	115,017	115,635
売上債権の増減額(△は増加)	27,406	4,405
たな卸資産の増減額(△は増加)	△639,467	104,274
仕入債務の増減額(△は減少)	474,573	312,891
その他	22,962	△94,300
小計	274,224	1,018,282
利息及び配当金の受取額	1,099	804
利息の支払額	△122,754	△117,926
法人税等の支払額	△108,476	△91,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,092	810,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,148	△53,319
無形固定資産の取得による支出	△11,672	△17,821
その他	△2,495	△4,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,317	△75,921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,631,352	7,028,153
短期借入金の返済による支出	△5,006,462	△7,639,757
長期借入れによる収入	2,884,460	1,487,000
長期借入金の返済による支出	△3,579,834	△1,403,896
社債の発行による収入	—	98,585
社債の償還による支出	△304,500	△64,500
リース債務の返済による支出	△49,652	△51,182
配当金の支払額	△154	△58,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	575,209	△604,031
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	578,984	130,073
現金及び現金同等物の期首残高	2,795,946	4,040,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,374,930	4,170,195

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	11,104,818	801,663	130,893	1,087,287	13,124,662	—	13,124,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,161	1,170	12,320	42,318	57,970	△57,970	—
計	11,106,979	802,833	143,213	1,129,606	13,182,633	△57,970	13,124,662
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	62,788	207,567	△4,533	217,145	482,968	△259,975	222,992

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△259,975千円には、セグメント間取引消去10,438千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△270,413千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	13,078,340	876,805	118,690	129,912	14,203,749	—	14,203,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,018	669	11,008	46,099	58,795	△58,795	—
計	13,079,359	877,474	129,699	176,011	14,262,544	△58,795	14,203,749
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	589,224	225,593	△10,660	22,145	826,302	△265,669	560,632

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△265,669千円には、セグメント間取引消去4,258千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△269,928千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、従来「その他の事業」に含まれていた「都市事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。